

## アメリカリウマチ学会(ACR 2025)

2025年10月に米国・シカゴで開催されたアメリカリウマチ学会 (ACR Convergence 2025)において、当科の駒ヶ嶺 正嗣 講師(特任)が、関節リウマチ治療に関する研究成果を発表しました。

**演題名：**

**“Real-World Evidence for the Superiority of Subcutaneous Methotrexate in Rheumatoid Arthritis: A Comparative Observational Study with Ultrasonographic Assessment”**

本研究は、関節リウマチ患者における皮下注射型メトトレキサート(メトジェクト®)の臨床効果を、超音波評価を用いて経口製剤と比較検証した多施設共同の実臨床研究です。

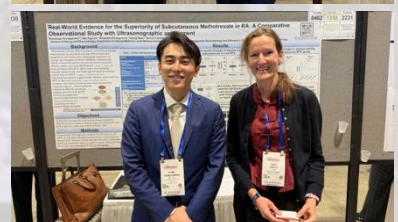
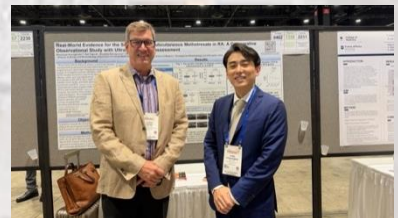
皮下注射製剤の有効性を科学的に示した先進的な成果として、**各国の研究者から高い関心と評価をいただきました。**



発表当日は、世界的に著名なリウマチ学の権威である Charité – Universitätsmedizin Berlin（シャリテー・ベルリン医科大学） Gerd Rüdiger Burmester 教授からも、「極めて興味深く臨床的意義の大きい研究である」とのご評価をいただきました。



ビュルメスター教授と



本学から発信されたこの研究成果は、関節リウマチ治療における国際的なエビデンス構築に貢献するものであり、今後も当科では国際学会発表・共同研究を通じて、リウマチ診療と研究の発展に努めてまいります。